

2007年2月9日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

停電による世田谷線の踏切誤作動について

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、世田谷線の踏切で停電による誤作動が発生しましたので、下記のとおりお知らせします。お客さま、近隣にお住まいの皆さまはじめ、関係各位にはご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。

記

1. 発生日時 2007年2月9日（金）10時22分ごろ

2. 発生場所 世田谷線上町2号踏切（幅員4.1m）
（所在地：東京都世田谷区桜1-18-12）

3. 状況および原因

10時19～23分の間、世田谷線上町2号踏切付近で、東京電力に起因する突発的な停電が発生し、遮断桿が上がったままの状態では停止していました。

このため、当該踏切にある踏切動作反応灯も消灯していましたが、上町～宮の坂間を走行中の世田谷線三軒茶屋発下高井戸行き電車（2両編成）の運転士が、当該踏切の遮断桿が上がったままになっていることに気付くのが遅れました。運転士は非常ブレーキを施しましたが、当該電車は当該踏切を通過して停止しました。

なお、当該踏切を通行している方や自動車などはありませんでした。また当該電車に乗車されていたお客さまにもお怪我などはありませんでした。

踏切誤作動の原因が判明し、安全が確認されるまでの間、監視要員を当該踏切に配置し、安全を確保した上で運行いたしました。

なお停電復旧後、踏切は正常に動作しております。

踏切動作反応灯

踏切が正常に動作していることを、接近する列車の運転士に知らせる装置です。遮断桿が確実に降下すると×印が点灯し、遮断桿が上がっている場合は赤色灯が点灯しますが、当時は停電のためいずれも点灯していませんでした。

4. 対策

停電時のバックアップとして、世田谷線の各踏切にバッテリー装置を導入します。

以上